

9月 10月 イベント情報

徳島県総合県民局企画振興部(美波) 2012年4月1日 発行 No.2

四国の右下の紅葉は”見る”だけではなく”感じる”ことができ、大自然がつくりあげた芸術作品。壮大で美しい風景があなたをお待ちしています。綺麗なもみじを觀賞後、温泉に浸かって一日ゆっくり旅をしてみませんか。さあ！！”四国の右下”へ♪



太龍寺 (阿南市加茂町竜山)

四国霊場21番札所。西日本一のロープウェイからの眺めは絶景。参拝をしながら心を奪われるような美しい紅葉を堪能できる



※バス→JR徳島駅から徳島バス 川口行きで1時間21分、和食東下車、徒歩10分の山麓駅からロープウェイで10分、山頂下車すぐ
※車→徳島自動車道徳島ICから国道11号・55号195号、県道19号 鷲敷方面へ車で43km
※問合せ:太龍寺
※電話:0884-62-2021

午尾の滝

..... (阿南市深瀬町岡崎)

滝の流れが馬の尾に似ていることから名づけられた。名のごとく、ごうごうと響く流音は豪快そのもの。紅葉と周囲の景色と滝の調和が美しい。落差30m

※車→徳島自動車道徳島ICから国道11号・55号、県道28号・19号を阿南方面へ車で28km
※問合せ:阿南市商工観光課労政課
※電話:0884-22-3290

大釜の滝 (那賀町沢谷)

「日本の滝百選」に認定。透き通った滝壺が鮮やかな紅葉に縁取られている様子が美しい。

※車→徳島自動車道徳島ICから国道55号・193号を木沢方面へ車で75km



大轟の滝 (那賀町沢谷)

白く浮かび上がる滝と紅葉の幻想的なコントラストを楽しむことができる。落差20m

※車→徳島自動車道徳島ICから国道55号・193号・県道16号を木沢方面へ車で70km

鷲敷温泉



※住所:那賀町百合字松の木310—1
※電話:0884-62-1289
※料金:大人350円 小学生200円 幼児100円
※営業時間:10:30~21:30
※車→徳島自動車道徳島ICから国道11号55号195号、鷲敷方面へ車で約80分。

奥槍戸 (那賀町岩倉)

赤や黄色に飾られたモミジやブナなどを眺めながら、剣山スーパ一林道をドライブするのがお勧め。

※車→徳島自動車道徳島ICから国道55号・193号・県道295号を木沢方面へ車で90km

もみじ川温泉

※住所:那賀町大久保字西納野4-7
※電話:0884-62-1171
※料金:大人500円、小人(3歳~小学生)250円
※営業時間:10:00~22:00
※車→徳島自動車道徳島ICから国道11号・55号・195号、相生方面へ車で約90分。

高の瀬峡 (那賀町木頭北川)

「徳島県観光100選」の第1位に選ばれた徳島県で最も有名な紅葉の行楽地。紅葉で埋め尽くされた山々と美しい川の流れは観光客に大人気。

※車→高知自動車道南国ICから国道195号を那賀方面へ車で57km

※問合せ:那賀町商工地籍課 ※電話:0884-62-1198

四季美谷温泉

※住所:那賀町横石字夏切3-3
※電話:0884-65-2116
※料金:大人500円、小人(3歳~小学生)300円
※営業時間:10:00~20:30
※車→徳島自動車道徳島ICから国道55号・193号・県道295号を木沢方面へ車で約2時間。

阿南市

椿泊だらだら祭り

阿波水軍の長であった森甚五兵衛(もりじんごべえ)代々の功績を讃えるとともに、豊漁を祈願する椿泊・佐田神社の秋祭り。古老に話を聞くと昔は神意と称して、お神輿が神社に戻らず、一ヶ月近くも続いたときがあったという。その間中、毎日おもしろいことをして遊ぼうと、お芝居を呼んだり、映画を上映したりしていたそう。よって、誰がつけたか定かではないが、だらだら(長く)続く祭りー。山車のねり、みこしの海渡御・船団の海上パレードが行われます。

※開催日時:9月上旬
※問合せ:阿南市商工観光労政課

※場所:阿南市椿町
※電話:0884-22-3290



那賀町

阿波農村舞台

日本の農山漁村には、神社の境内に歌舞伎や人形芝居を上演する農村舞台が多数残されています。これらの舞台は歌舞伎用が人形芝居用かに分けることができますが、徳島には人形芝居用の農村舞台が全国で最も多く残っています。

鎌瀬農村舞台

平成3年に再建された県内でも新しい農村舞台のひとつ。平成9年度より、相生森林美術館の主催で毎年秋に、人形浄瑠璃公演を開催。

※開催日時:10月下旬
※場所:那賀町横石字大坂56
山神社境内
※問合せ:那賀町相生森林美術館
※電話:0884-62-0117



坂州農村舞台

国指定の文化財。太夫座は、舞台と客席を同時に見られる独自の構造を持ち、長尺の部帳とともに地域的な特徴を示す。昭和55年以降、毎年10月に公演を開催。

※開催日時:10月下旬
※場所:那賀町坂州字広瀬32
坂州八幡神社境内
※問合せ:那賀町教育委員会 木沢分室
※電話:0884-65-2111



那賀祭り

那賀町もみじまつり
オープニングイベント

那賀町の伝統芸能・那賀町物産品・農産品・林産品の販売・観光体験コーナーなどがあります。

※開催日時:
10月中旬

※場所:
鷺の里観光物産センター周辺

※問合せ:
那賀町観光協会

※電話:0884-62-1198



よくばり体験

「体験を通じてはじまる人とのふれあい」を目指し、徳島県南部、海部郡3町によって設立されたのが、南阿波よくばり体験推進協議会です。県南の豊かな自然の恵み、厚い人情をあますことなく体験・学習できる68種類の体験プログラムがあります。修学旅行をはじめとする学校教育現場の体験学習はもちろんのこと、ご家族、グループ、各種団体等でもご利用いただけるプログラムも多数用意しておりますので、気軽にご利用ください。

1か月前まで要予約

自然体験 スポーツ・アウトドア体験・漁業体験・農林業体験・
味覚・海産物加工体験・伝統工芸・地場産業体験・歴史文化体験

※問合せ:南阿波よくばり体験推進協議会 ※電話:0884-72-2622

美波町

日和佐秋祭り

県内随一！八台のチョーサ(太鼓屋台)が繰り出す秋祭り。1日目宵宮は9時から神輿町内巡幸、12時から八台のチョーサが一斉町廻り、18時30分から奉納演芸と花火、2日目の本祭りは10時50分から八台のチョーサが順々にお浜出。中には大浜海岸へ威勢よく飛び込んでいくチョーサもあり、迫力ある伝統的なお祭りです。

由岐伊勢エビ祭り



新鮮な伊勢エビなどの即売、大漁市、伊勢エビみこし、伊勢エビが当たるゲーム大会などが、開催されます。伊勢エビ長寿汁の振る舞い先着500人等、イベント盛りだくさんで開催します。

※開催日時：
10月第二土日曜日

※場所：
美波町日和佐
八幡神社境内

※問合せ：
日和佐八幡神社

※電話：
0884-77-2472

※開催日時：10月下旬
※場所：美波町由岐支所前グラウンド
※問合せ：由岐伊勢エビまつり実行委員会
※電話：0884-78-0919



海陽町

大里八幡神社祭り

1日目の19時からの奉納花火は旧海部川橋下流にて打ちあげ。2日目の12時から七台の絢爛豪華な関船や山車が続々と浜入り。順々に長い松原を巨大山車が駆け抜けて疾走していく光景はシャッターチャンス。14時から渡御祭、15時から流鏝馬では皆、われ先に御礼を頂戴しようと手ぐすねひいて大勢の人達が待機しています。

※開催日時：10月中旬
※場所：
海陽町大里神社周辺
※問合せ：
海陽町観光協会
※電話：
0884-76-3050



湊柱神社奉納 赤ちゃんの土俵祭り

山下広場中央に土俵をつくり、この一年間に生まれた男の赤ちゃんが土俵入りします。腰には、勇ましい虎や鷹などの鮮やかな横綱・関取の化粧まわしに自分の名前をもじったしこ名刺繍し、紅白だんだらの鉢巻を頭にぎゅっと結んだら、かわいい豆力士のできあがりです。もちろんまだ歩けない赤ちゃんも多いので、世話役の行司に抱かれての晴れ姿です。土俵に上がり、行司が勝ち名のりををあげるとともに高くかざされ、力士のように大きく、強く、たくましく育つことを祈ります。

※開催日時：10月中旬
※問合せ：海陽町観光協会

※場所：海陽町鞆浦山下広場
※電話：0884-76-3050



かつおの
たたき作り
体験



シーカヤック
体験

地引き網
体験



田植え
体験

一

一緒に日本文化を学びましょう！

「神社」は、日本創世神話の神や山、海

などの自然神など祀っている場所です。鳥居と言われる大きな門が、参拝に訪れる人々を迎えます。境内と言われる敷地内には、神が祀られている本殿、参拝客がお祈りをする拝殿、祝祭や儀式を行う祭に神に祈りを捧げる祝詞殿があります。拝殿の前には賽銭箱があり、天井には鈴がかけられています。社務所には、家内安全、学業成就、勝守、縁結び、安産祈願などのお守りや縁起物、おみくじなどが売られています。お正月になると多くの参拝客が神社を訪れ、新年の抱負を神様に祈ります。



「太鼓」は、木や金属でできた胴の両

面、または片面に牛皮などを張り、撥で打って音を出す打楽器のひとつです。胴が木でできている太鼓を「和太鼓」と言います。お囃子などに使用する小さなものを小太鼓、祭りなどに使用する大きな太鼓を大太鼓と言います。小太鼓は軽快な音が、大きい太鼓は腹に響く力強い音がします。



「相撲」



相撲は、1,400年以上も歴史ある日本の国技です。まわしを締めた2人の力士が、ほぼ丸い直径4.6mの土俵で取り組みを行います。「大相撲」は、プロによるもので人気があります。基本的に相手を土俵の外に出すか、体の一部を地面に触れさせれば勝ちになります。十両以上の取り組みをする前に、伝統儀式があります。三役(小結、関脇、大関)揃い踏み、横綱の土俵入りなどがそうです。また、力士は塩をまいて土俵を清め、シコを踏みます。決まり手は、突き出し、押し出し、吊り出し、はたきこみ、上手投げなど、数多くあります。力士にはランクがあります。下から序の口、序二段、三段目、幕下、十両、前頭、小結、関脇、大関、横綱になります。十両以上を”関取”と言います。1場所、十両以上は15日間の取り組みがあり、8勝しないと順位(番付)が落ちてしまいます。

参考: 中国語対訳で紹介する日本のすべて(日本文芸社)出版



道の駅特集

道の駅 日和佐

道の駅 日和佐は、JR牟岐線・日和佐駅と国道5号5線に面しています。道路利用者だけでなく、町民にとっても利用しやすい道の駅です。施設には、情報コーナー・物産コーナー・姉妹都市交流コーナーを備えた「物産館」、町内外から好評の「足湯館」、地元の特産品等を品揃えした「産直館」等があり、県南部中核観光ゾーンとしても最適の道の駅です。

物産館・足湯館・産直館
年中無休 (9:00~18:00)

住所:
徳島県海部郡美波町奥河内寺前493-6

電話:0884-77-2121 FAX:0884-77-1611